



太陽エネルギーはどれだけの人の生活を助けてるの？

日本や多くの先進国では、大きな発電所をつくって化石ねん料をもやして電気をつくってきました。しかし大きな発電所の建せつには、お金がたくさん必要です。そのため、お金があまりない国や地いきには、電気がつかえない家が多数あります。電気がないと、冷ぞう庫もけい帯電話もテレビもない生活をしなくてはなりません。バングラデシュでもたくさんの人が電気を使うことができませんでした。この問題をかい決するために、ソーラーパネルや風車を使って、自然エネルギーで電気をつくることがふえてきました。自然エネルギーで電気をつくれば、かんきょうにやさしい上に、たくさんのお金が必要な大きな発電所を建せつする必要がなくなります。

1. 1990年には、バングラデシュの国民の78%が電気を使えませんでした。バングラデシュの1990年の人口は、1億1千万人でした。何万人の人が電気を使えませんでしたか。
 $11,000(\text{万}) \times 0.78 = 8,580 (\text{万人})$
2. ソーラーパネルや風車を使って電気をつくることで、今では電気が使えない人は国民の39%にへりました。現在のバングラデシュの人口は1億6千万人です。電気を使えない人は、現在何万人いますか。
 $16,000(\text{万}) \times 0.39 = 6,240 (\text{万人})$
3. ソーラーパネルや風車を使って電気をつくることで、現在までに、何万人の人が電気を使えるようになりましたか。
 $8,580 - 6,240 = 2,340 (\text{万人})$

